

第9回 こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

こども達の健康と発達

日時

2014年2月1日(土) 13:00~14:30

場所

神戸こども初期急病センター
なぎさホール



- あいさつ
- 公開講座

1 こども達を寒い時期の感染症から守る

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門
特命助教 久保川 育子

2 困ったときのくすりの使い方

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門
特命講師 池田 真理子

3 こどもの言葉、発達の見方と促し方

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門
特命講師 森貞 直哉

参加費
無料



神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番1 (HAT神戸内)

■ 阪神電車「春日野道」駅から南へ徒歩約8分

■ JR「灘」駅南口より南へ徒歩18分

※満席の際は入場できない場合もございますので、ご了承ください
※託児施設はありません

お問い合わせ先

神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門
TEL. (078) 382-6090

主催/神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門(寄附講座)
後援/神戸市・神戸市医師会・神戸市小児科医会

こども達を寒い時期の感染症から守る ～インフルエンザ、RS ウイルス感染症、感染性 腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス）について～

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門
特命助教 久保川 育子

今日は、寒い時期に流行する3つの感染症について解説します。一つ目は、今、まさに流行中のインフルエンザ、二つ目は、小さな赤ちゃんにかかると重い呼吸器症状をひきおこすRS ウイルス感染症、三つ目は感染性胃腸炎です。

感染症の発症には、①病原体、②人、③感染経路 の3つの要素が関与しています。感染症からこども達を守るためには、どんなウイルスが、どのような経路を通して人に感染するのか、正しく知っておく必要があります。また、感染対策の基本は、感染源への対応として消毒、隔離、ワクチンが存在する場合は、予防接種によって免疫の強化を図り、咳エチケットやうがい・手荒い等を徹底して感染経路を絶つことです。このことは、今回お話する3つの感染症に共通して重要な事です。

それぞれの感染症についての詳細は、今日お話しするスライドのハンドアウトを準備していますので、そちらをご覧ください。

MEMO:

こまったときの薬のつかいかた

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門
特命講師 池田 真理子

あの病院のくすりは良く効く、このクリニックの薬はきつい・・・などというお話をよく耳にします。はたして、小児の外来受診の最大の理由である「風邪」に本当に「良く効く」お薬はあるのでしょうか？実は小児のかぜの治療薬で、効果が実証されているものはほとんどないことを皆さんはご存じですか？効かないばかりか、自然に治るはずの風邪の治療をかえって長引かせたり、副作用に苦しんだりすることもあります。

日本は豊かな国で、小児はいつでも気軽に医療機関を受診でき、薬を処方してもらえます。風邪を1日でも早く治してあげたい、というご家族のお気持ちと、出来ることをしてあげたいという医療者側の気持ちから、日本のこどもたちは沢山の風邪薬を処方されています。しかし最近になり、これらの薬の効果が再検討されはじめています。不要な薬や間違った情報からこどもを守るために、ご家族、医療者が出来ることは何でしょうか。くすりのイマドキの情報をほんのすこし、提供させていただきます。

MEMO:

こどもの言葉と発達の見方・促し方

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門
特命講師 森貞 直哉

すべての人間はお母さんから生まれると、外界の急激な変化に対応できるよう、様々な経験を通じて多くの能力を獲得していきます。これを発達と呼びます。人間が発達すると、外界に反応し（見たり聞いたり）、移動し（ハイハイや一人歩き）、自分の意思を伝え（言葉を理解する、言葉を出す）、そして一人で生きていくことができるようになります。また、社会の一員としての能力（コミュニケーション）も必要です。こどもが順調に発達して立ち上がることは、すべての親御さんにとって、もっとも大切な願いであるといっても過言ではありません。

自分のこどもが、「発達が遅れている（発達遅滞）」と診断されることは、すべての親御さんたちにとって大変ショックなことです。しかし早めの治療介入がこどもの発達を促すため、発達の診断は慎重にかつ正確に行う必要があります。

一方、最近「発達障害」という言葉をよく聞くようになりました。自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害などとも言います。大人の発達障害も問題になっています。この発達障害とは、どのようなものでしょうか？どのような症状が含まれ、どんな対応をすればいいのでしょうか？発達障害と発達遅滞はどちらがうのでしょうか？

今回の公開講座では、こどもの発達に関する問題について、みなさまといっしょに考えてみたいと思います。

MEMO: